

Ramucirumab+PTX療法						
		Day				
薬剤名	用法用量	1	8	15	22	28
サイラムザ※1 (Ramucirumab)	8mg/kg 点滴静注 (60分:25mg/分以下)	↓			↓	
パクリタキセル (PTX)	80mg/m ² 点滴静注 (60分)	↓	↓	↓		

4週間ごと PD (憎悪) まで

※1 2コースまではサイラムザ投与後からPTX投与までの間に1時間観察

【前投薬】

- | |
|---|
| ①サイラムザ投与前 ジフェンヒドラミン50mg 経口 |
| ②サイラムザ投与前 デキサメタゾン静注9.9mg iv (減量可) |
| ③サイラムザ投与前 ラニチジン50mg iv またはファモチジン20mg iv |

【基本事項】

プラチナ製剤およびフッ化ピリミジン系薬剤を含む併用療法が無効であった切除不能・再発胃がん（胃食道接合部腺がんを含む）二次治療

【レジメンポイント】

- ①前投薬の確認、パクリタキセルの過敏症・サイラムザのInfusion reactionの予防
- ②(相互作用) PTX : CYP2C8,CYP3A4を阻害する薬剤でPTXの血中濃度が上昇することがある

【服薬指導のポイント】

* PTXは30mgあたり約2.5mlの無水エタノールを含有(120mgでビール約180ml相当)しているので、投与前にアルコール摂取が可能かどうかを確認するとともに、投与当日の車の運転を避けるように指導する。

【主な副作用】

過敏症・Infusion reaction、末梢神経障害、脱毛、高血圧、出血、血栓塞栓症、うつ血性心不全、創傷治癒障害、消化管穿孔、骨髄抑制